

糸満市と沖縄県漁業協同組合連合会の防災協定への参画について

株式会社 琉球リース

糸満市と沖縄県漁業協同組合連合会（以下、沖縄県漁連という。）は、災害発生時の相互支援体制構築を目的とした防災協定「災害時等における次世代自動車等からの電力供給の協力に関する協定」を2026年2月20日付けで締結しました。

沖縄県漁連は当社と共同で国の補助金を活用し、EV（次世代自動車）、太陽光パネル、普通充電器をリース導入しており、本協定においてこのEV車両が災害時の電力供給源として活用されることになりました。

当社は間接的ではありますが、リース契約を通して本防災協定に関わることになり、今後も同様な取組みを通して地域の安全・安心に貢献していきたいと考えております。

協定式の様子は下記 URL 参照（糸満市 HP）↓

<https://www.city.itoman.lg.jp/site/toretateitorepo/35305.html>

<補助金を活用した本リース導入事例の概要>

沖縄県漁連は、同社の水産物加工処理施設に太陽光発電設備、普通充電器、EV 車両を一体的に整備する為に、当社との共同申請（リース）にて国土交通省の「令和7年度物流脱炭素化推進事業」の補助金を活用し設備を調達しました。

整備した EV 車両は、平時には環境にやさしい輸送手段として活用し、災害時には太陽光で蓄えた電力を活用した「走る蓄電池」として避難所等へ派遣され、夜間の照明やスマートフォンの充電、医療機器の電源として活用される予定です。